

金融市場NOW

# 法人企業統計調査 設備投資が引き続き堅調

## 経常利益は増益へ

- ▶ 2019年1～3月期の法人企業統計調査によると、設備投資が10四半期連続の増加となった。
- ▶ 経常利益は1～3月期としては過去最高を更新。非製造業が前四半期のマイナスからプラスに転じる。
- ▶ 今回の結果を受け、6月10日公表の国内総生産（GDP）改定値は小幅に上方修正される見込み。

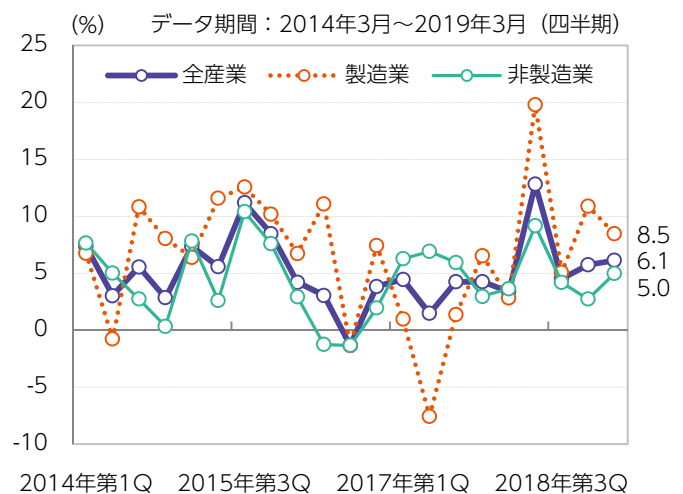
6月3日に財務省が発表した2019年1～3月期の法人企業統計調査によると、全産業（資本金1千万円以上、金融業、保険業を除く）の設備投資が前年同期比（以下同様）で6.1%増の15兆6,763億円となり、10四半期連続で前年同期を上回りました（図表1）。内訳では、製造業が同8.5%増、非製造業は同5.0%増となりました。製造業のうち、生産用機械が同43.1%増、化学が同42.1%増となり上昇に大きく寄与しました。

また、国内総生産（GDP）改定値を算出する際に基礎となる、ソフトウェアを除く全産業の設備投資額は前期比1.1%増となり、2四半期連続で増加となりました。

全産業の経常利益は前年同期比10.3%増の22兆2,440億円と、1～3月期としては過去最高となりました（図表2）。内訳では、原材料価格の上昇等から業務用機械や電気機械が大幅減となったことなどから製造業は同マイナス6.3%となり、三四半期連続で減少となりました。長期化する米中貿易摩擦の影響等から、中国向けのスマートフォン用電子部品や輸送用機械の工場稼働率が下がったことが要因の1つとみられています。一方、非製造業は前四半期の同マイナス4.9%から同18.4%とプラスに転じました。

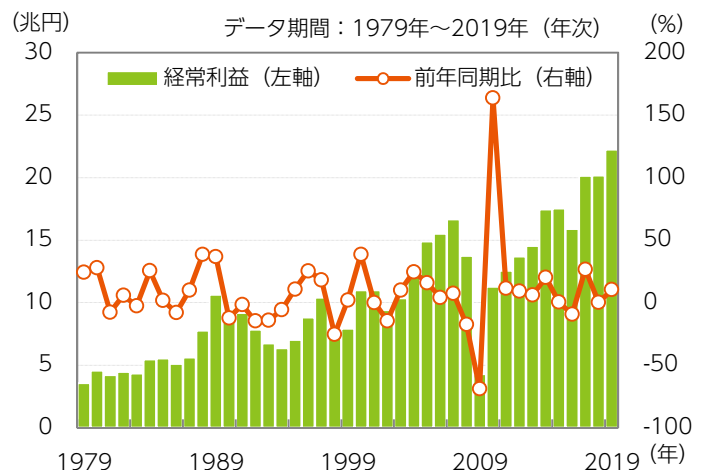
今回の法人企業統計調査の結果は、6月10日に内閣府より公表される2019年1～3月期の国内総生産（GDP）改定値に反映されます。速報値では前期比マイナス0.3%と芳しくなかった設備投資は上方修正され、GDPも小幅に修正されるという見方が多いようです。しかし、製造業を中心に米中貿易摩擦に端を発した世界的な景気減速が懸念材料となり、今後については引き続き注視していく必要がありそうです。

図表1：設備投資は10四半期連続の増加となる



※全規模ベースの設備投資（前年同期比増減率）の推移（全産業及び非製造業には金融業、保険業は含まれていない）

図表2：経常利益は1～3月期としては過去最高



※経常利益の推移（各年1～3月期）（全規模・全産業（金融業、保険業は含まれていない））

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>